

## 行政報告

令和5年8月28日

伊豆市長 菊地 豊

令和5年伊豆市議会9月定例会の冒頭にあたり、行政報告を申し上げます。

### 1 安全安心なまちづくりについて

#### (1) 新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染症は、5類感染症に移行されましたが、県内では感染拡大警報が発令される等、未だ感染が収まらない状況が続いています。

ワクチン接種は、現在、65歳以上を対象に実施していますが、9月20日から新たに全市民を対象として、現在の主流であるオミクロン株派生型「XBB」に対応したワクチンの接種を開始する予定です。ワクチンの配分量は国から示されていませんが、希望する人が適切に接種できるよう、努めてまいります。

#### (2) (仮称)日向公園の整備

(仮称)日向公園は、狩野川沿いの立地を活かした水辺ならではの憩いの場として、また、災害時には避難先や災害対策の拠点として、令和8年度の全面開園を予定しています。

現在は、新中学校の開校に合わせた一部供用開始に向けて、公園北側の調整池の整備や公園の造成、園路及び園内設備等の工事を進めています。

#### (3) 自然災害による死者ゼロを目指して

私は、2035年に発生するとも言われている南海トラフ巨大地震を非常に危惧しています。自然災害で絶対に死者を出さないためには、防災対策の強化が不可欠であると感じています。

津波対策では、松原公園に建設中の津波避難複合施設等のハード対策だけでなく、南海トラフ地震臨時情報発令時の事前避難を徹底するなど、逃げ遅れることのない体制づくりを進めます。

また、災害時に職員が本来の業務を行うためには、避難所は、自主防災会が中心となって運営していただかなければなりません。防災指導員を対象とした避難所運営訓練等を継続して実施し、自助、共助の文化を避難所に築く取り組みを進めてまいります。

#### (4) 高齢者のささえ合い活動

誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、居場所づくりや生活・

移動支援など、住民主体のささえ合い活動を推進しています。

現在、50を超える団体が活動しており、去る7月14日に開催した「伊豆市民ささえ合い活動フォーラム」では、各団体の取り組みを発表し合い、地域でできることを考えました。高齢化が進む中、引き続き住民主体の地域のささえ合い活動を支援してまいります。

## (5) 市役所消防隊の発足

消防団員が減少している中、出動が難しい平日昼間の火災に対応するため、市役所消防隊を発足し、職員も初期消火活動を行うこととしました。

火災発生時に迅速に出動できるよう、本庁と中伊豆支所の2隊、各10名程度の編成を予定しています。現在は、訓練を実施するなど、本年10月の発足に向け準備を進めており、地域の安全・安心の一助となるものと考えています。

## 2 活力あるまちづくりについて

### (1) わさびの郷拠点施設

わさびの郷拠点施設は、施設整備に着手したほか、去る8月23日には地域の皆様に対し整備方針等に関する説明会を開催しました。世界農業遺産に認定された「静岡水わさびの伝統栽培」、歴史的価値の伝承や食体験等による魅力の発信などにより、「伊豆市のわさび」を核とした地域の活性化やわさび生産の振興を目指し、来訪者だけでなく生産者にも喜ばれる施設を整備してまいります。

### (2) 公共施設の適正化

県が所有する達磨山高原レストハウス及びキャンプ場は、現在、市が委託を受けて管理運営しています。これまで民間活力による有効活用を念頭に、施設の譲り受けについて県と調整しておりましたが、この度、協議が整いましたので、今定例会に財産の取得及び施設条例に関する議案を上程いたしました。

県から譲り受けた後、当面は、市有施設として管理していきますが、将来的には民営化に向けて検討してまいります。

また、旧天城湯ヶ島支所及び旧天城保健福祉センターにつきましては、相手方との協議の上、基準価格から減額して売却することとし、今定例会に譲渡に係る議案を上程しております。

いずれの施設も民間に運営を委ねることにより、地域振興、更には産業振興に繋がるものと確信しています。

### (3) 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業

観光庁の補助事業である「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に3年連続で採択されました。今年度は、市内を2つのエリアに分け、

それぞれ伊豆市産業振興協議会が宿泊事業者、飲食店等を取りまとめ、申請しました。

採択は、市内全体で 49 事業者 66 事業、総事業費は約 44 億 8,000 万円となっており、本事業の実施により、魅力あふれる観光地域づくりが更に進展するものと期待しています。

### 3 新中学校開校に向けて

新中学校整備事業は、本年 6 月に国の補助金の内示を受け、本格的な建築工事を開始しました。現在は、建物の基礎工事を主にグラウンドの外構工事等も進めています。

また、開校に向け、社会の変化やデジタル化等の環境に対応した学ぶ場・働く場を実現する「理想の職員室」について、この夏休み期間に教職員によるワークショップを開催しました。子供たちだけでなく教職員にとっても魅力ある学校となるよう、働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。

校章は、去る 7 月 18 日までデザインの募集を行い、247 件の応募がありました。今後は、校章作委員会を中心にデザイン案を絞った上で校章やエンブレムの制作を進め、今年度中に決定する予定です。

### 4 行財政改革について

#### (1) DXの推進

DXについては、「伊豆市DX推進方針」に基づき、デジタル社会の構築に向け現在その取り組みを進めているところです。

その一つとして、専門知識や技術なくしてシステムが開発できる「ノーコード」を積極的に推進することとし、去る 5 月に全国 9 市町と共に全国第 1 次宣言自治体として「ノーコード宣言シティー」へ参画いたしました。これまでに職員研修を実施したほか、来月にはノーコードアプリを作るためのソフトを導入する予定であり、今後は、職員自らの手でDXによる業務改善を図り、働き方改革や人材育成、住民サービスのデジタル化などに取り組んでまいります。

また、昨今話題となっているチャットGPTと呼ばれる生成AIの利用に向けた検討を始めました。まだまだ課題の多い生成AIですが、使い方によっては業務の効率化や行政サービスの向上に大きく貢献するものと考えております。まずは、生成AIについて職員の理解を深めるとともに、業務における活用方法や有効性、問題点などを洗い出すための実証実験を行いたいと考えています。

#### (2) 市民との懇談会の開催

人口減少、特に少子化については、市の最重要課題として、その対策に多面的かつ総合的に取り組んでいるところです。本市の子育て施策は、他市町に勝るとも劣らないものと自負しておりますが、子育て世代のニーズを的確に反映し、子育て施

策の更なる充実を図るため、私が市内各園を訪問し、今月から保護者の皆様との懇談会を行っています。

また、9月19日からは、旧小学校区単位で地区懇談会を開催し、市民の皆様と地域が抱える問題や市への要望等について意見交換させていただく予定です。コロナ禍を経て4年ぶりの開催となりますので、多くの皆様と活発な意見交換ができるものと考えております。